



1 自己評価

I 評価結果

生徒アンケートからは、昨年度と比べてかなり上がった。特に「家庭学習や基本的生活習慣の指導をきちんと行っている」「道徳授業を行っている」の項目はポイントが上がっている。学習習慣や生活に対する指導をきめ細かく行ったり道徳の時間をきちんと確保、指導していることが評価されていると考える。

保護者アンケートでは「学校の特色」のポイントが今年度も大きく上がった。協同学習、自問清掃・職場体験学習5日間・ノーチャイム等の取り組みが評価されたと考える。

II 分析・改善方策

「生徒指導」については、日常的に生徒の気持ちを受け止められるよう教育相談を行ったり、生徒に寄り添った指導をしていきたい。家庭との連絡を密にする。声かけをしっかりと、生徒との人間関係を更に深めたい。

「学習指導」については、協同学習での学び合いを中心にきめ細やかな指導の工夫をしていきたい。家庭学習の習慣を身につけさせる。

2 学校関係者評価委員会

本校学校評議員を中心とする。

3 学校関係者評価

「わかる授業の創造と学力の充実」「キャリア教育の充実」「家庭、地域との連携」の3点について自己評価、分析、改善方策を提示。詳細は別紙による

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

○「将来の進路や生き方を学ぶ」の項目に重点を置き、全ての教育活動をキャリア教育を中心に推進していく。

○久米校区の小学校と連携し、協同学習を推進していく。生徒も教師も高め合う集団づくり授業づくりを展開する。また、生徒による授業評価を行い、授業力向上・改善を図る。

○久米地区小中 PTA 連絡協議会を活性化し春休みの宿題、家庭学習の習慣を定着させる。

中学校の学習へとスムーズに移行できるよう出前授業、入学説明会時に中学校の授業体験をさせる。

○年3回実施している学校公開週間に参観日、学校評議員会、民生委員会の定例会を併せ、地域や保護者に開かれた学校を目指していきたい。2学期の学校評議員会を各委員2名を推薦し拡大評議員会として授業見学、給食試食会を実施し信頼される学校をめざす。

○魅力ある HP を更新し授業公開案内、学校の特色などを情報発信していく。